

# 人との出会いが楽しい毎日

緑のふるさと協力隊

清田 亜希さん

きよたあき

宮崎県延岡市出身

21歳



特定非営利活動法人(NPO法人)地球緑化センターから平成十九年度緑のふるさと協力隊員として、四月十日に当市に着任した清田亜希さん。

「子どものころから大好きだった自然の中で生活しながら、自立心を養いたい」と、故郷でのアルバイト生活から一転、協力隊に応募することを決意した。

農家に向いて田植えをしたり、牧場で牛の世話をしたりするなど、初めて体験する作業に汗を流す毎日。「農作業の大変さや農家の実情を感じ、食べ物大切にすることを学ぶようになった」と充実感をのぞかせる。

好奇心旺盛な性格。「人との出会いが楽しい」と、協力隊としての活動以外にも積極的に参加している。小学四年生から続けているバレーボールは、早速同僚が所属するチームに加入。以前から興味を抱いていた剣道にも挑戦することを決意し、週に一度道場に通う。近く、消防団のラッパ隊へ加入するほか、三味線も学ぶ予定だ。

「いつも笑顔をやさず、一緒にいるだけで周りの人に元気を与えられるような人」が理想像。「二年間の遠野生活で、自分の行動に自信を持てるようになって、その理想に少しでも近づけるようになりたい」と笑顔で話す。

## ●緑のふるさと協力隊

全国の自治体などの受け入れにより山村で1年間生活し、農林業や町おこしの手伝いをしながら自分自身の生き方を見つめる制度。本年度は、全国の23自治体に24人が派遣されている。本市は、平成15年に旧宮守村が受け入れを始め今年で5人目。

## 【特集】 それでも 続けますか

日本人の体が変わり始めています。

不足する運動

欧米化する食事

不規則な生活習慣

自分や家族の健康を、

見つめ直してみませんか。